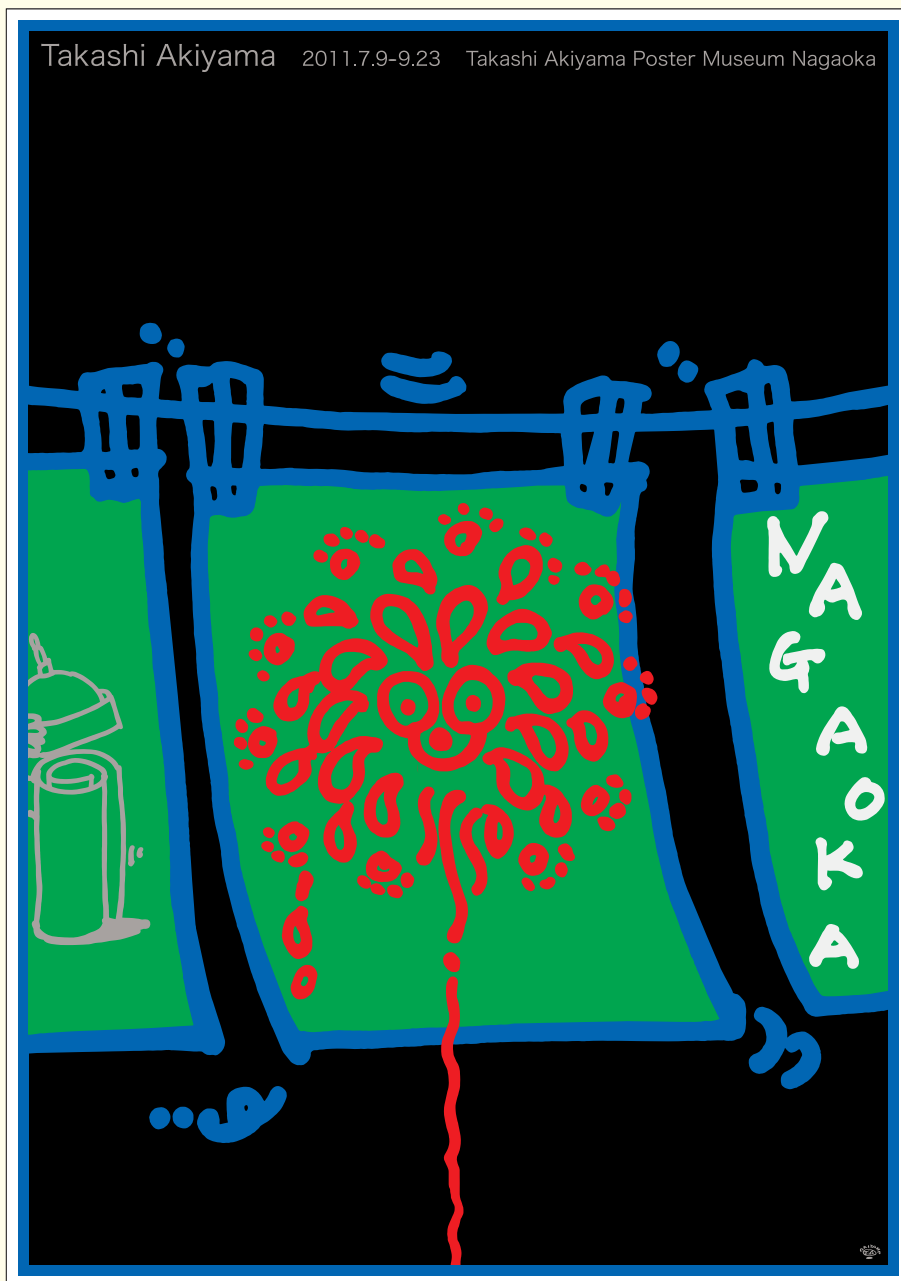


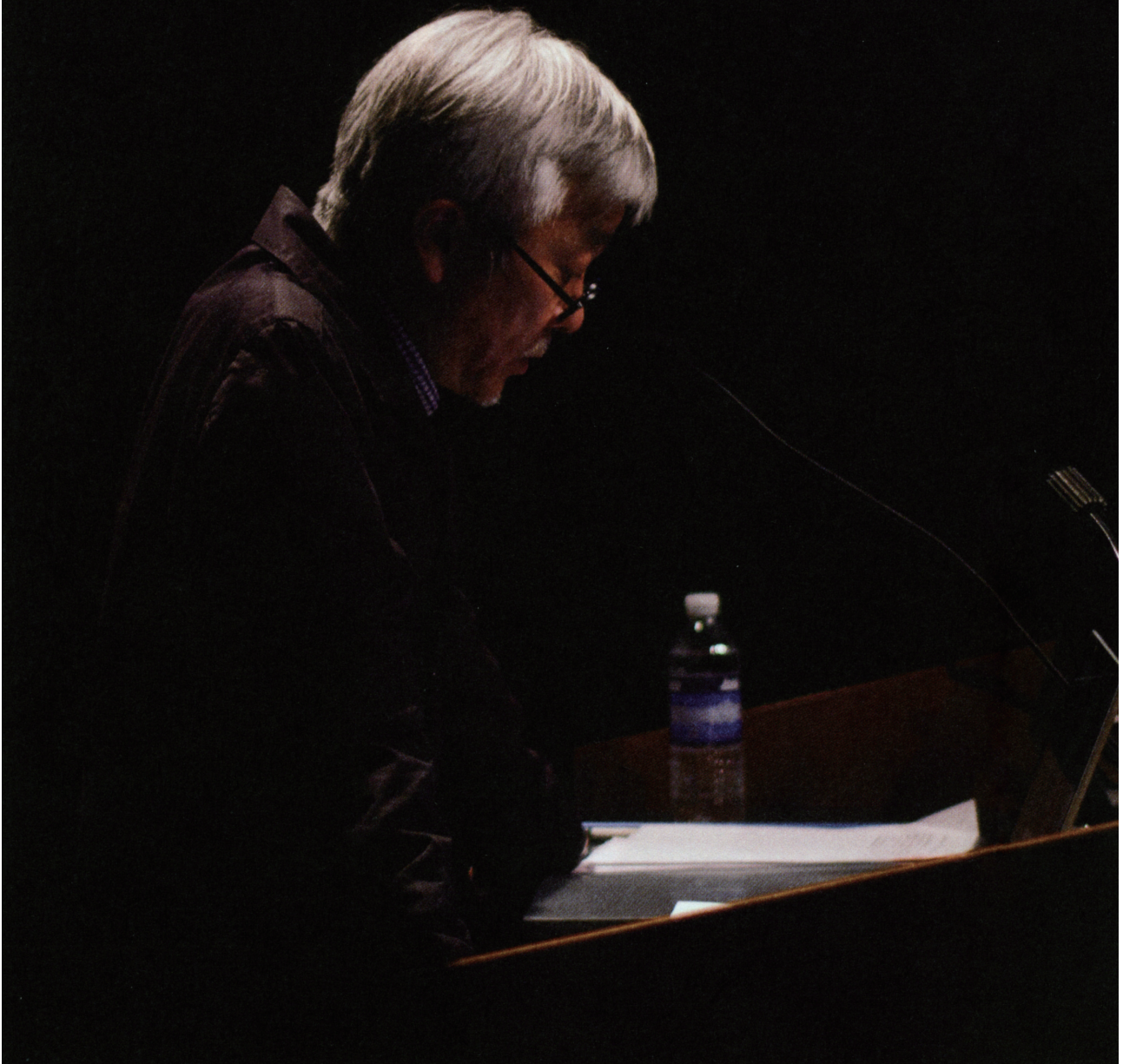
Poster-3 2012-2011 Takashi Akiyama



MAY 30 9A.M.

Chinese Posters, Japanese Posters and the Posters of Takashi Akiyama

SAIC Rubloff Auditorium



第2回シカゴ国際ポスタービエンナーレ講演 場所:SAIC Auditorium(シカゴ美術館大学) 2010年5月30日

ごあいさつ

秋山 孝

秋山孝ポスター美術館長岡・館長
多摩美術大学・教授

秋山孝ポスター美術館長岡(APM)は、開館3周年になる新作ポスター集「Takashi Akiyama Poster3」を発行することが出来た。今年のポスター作品の大きな特徴は、巨大地震「東日本大震災」をテーマとしたものだ。ひとつは1986年チェルノブイリ原発事故が起きて25周年を振り返るポスター展が、ハリコフ芸術家の家で4月26日に開催された。ポスター作品タイトルは「『チェルノブイリ 1986--2011 福島』25周年記念チェルノブイリ原発災害」だ。この展覧会はモスクワ、ワルシャワ、ドイツなどで開催された。ポスターは二つの原子炉、チェルノブイリと福島が重なり合い激しく揺れている姿をデザインした。25年経ってもチェルノブイリの教訓は活かされているのか疑問を感じる。つまり、人間は悲しいことに過去の災害からあまり学ばないということがよく分かった。

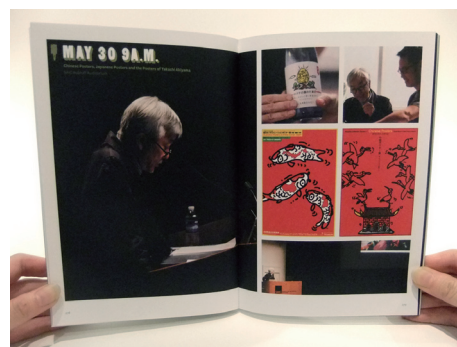
次に「NO MORE FUKUSHIMA 2011 / NO MORE HIROSHIMA 1945」U.G.サトー氏を中心とした反原発ポスター展実行委員会は、ヴィジュアルで訴えるグラフィックデザイナー・イラストレーターの反原発ポスター展を開催した。2011年11月16日から25日の間、桑沢デザイン研究所1階大ホールで海外の著名なデザイナーも参加し200名を越える展示となった。実行委員でもあるぼくもポスターを制作し参加した。東日本大震災の災害のなかで原子力発電事故は、遙か想像を超える恐怖だった。この問題は解決不能のメッセージとして理解せざるを得なかった。デザインは、アメリカの原発メーカー元技師ブライデンボラが製作したマーク1のシルエットを擬人化したものだ。元技師は、当時安全性に問題あるため中止の提言したが、受け入れられなかった。そして彼は退職した。

さらに多摩美術大学地震ポスター支援プロジェクトでのポスター作品は「地震津波火災 Earthquake Japan」だ。とうとう巨大地震(東日本大震災)がやってきた。予定どおりだ。人間の儂さを思い知らされた。かならず起こると分かっている、この無知さに腹が立つ。現実とは愚かさの積み重ねだ。東日本大震災では地震そのものよりも津波の被害が圧倒的に大きかった。そして、海が燃え上がる津波火災に驚かされた。ぼくは、それをデザインしビジュアルメッセージとした。本プロジェクトは2004年の新潟中越地震を発端として発足した「地震ポスター支援プロジェクト」だ。災害支援においてデザイナーのできることは何かということから、ポスターの力を使い災害を忘れずに記録することを目的にスタートした。展覧会は2011年10月7日～21日、東京工芸大学中野校舎3号館ギャラリーで開催し、講演会、講評会を行った。

日本が第二次大戦に敗戦した1945年と匹敵するような出来事であったように思う。人間の根本的な欲望の結果かも知れない。



第2回シカゴ国際ポスタービエンナーレ カタログ (表紙)



第2回シカゴ国際ポスタービエンナーレ カタログ (見開き)

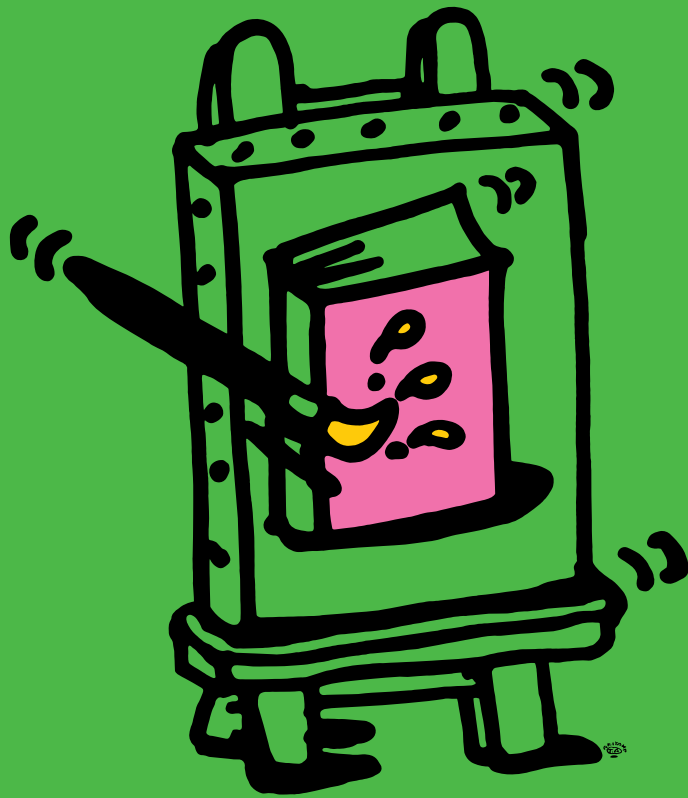
Tokyo Book Jacket Illustration Competition 2012 The Society of Publishing Arts
第1回東京装画賞2012 日本図書設計家協会



[Title] ----- 「第1回東京装画賞 2012」プレゼンテーション用ポスター(黄)
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 2012
[Client] ----- 日本図書設計家協会
[Category] ----- Culture

[Idea] ----- 図書設計家協会は「第1回東京装画賞 2012」の作品募集を行った。東京装画賞の始まりは、電子ブックの登場した今だからこそ、装画の力、装丁の美を見直し、再認識しなければならないと考える。上質な文字・上質なイラストレーションは消え去るものではなく基本となるビジュアルコミュニケーション力だ。「東京装画賞」を発信することは装画装丁の価値の高さを問いただし、日本図書設計家協会が誇りを持っておこなうべき社会への提案だと考える。そこに生きている人々に感動を与える装画と装丁の創作を提供することである。ポスターのデザインアイデアは、本が平積みになったりしたときの識別は、ブックジャケットのイラストレーションのビジュアルである。それを強調した。

Tokyo Book Jacket Illustration Competition 2012 The Society of Publishing Arts
第1回東京装画賞2012 日本図書設計家協会



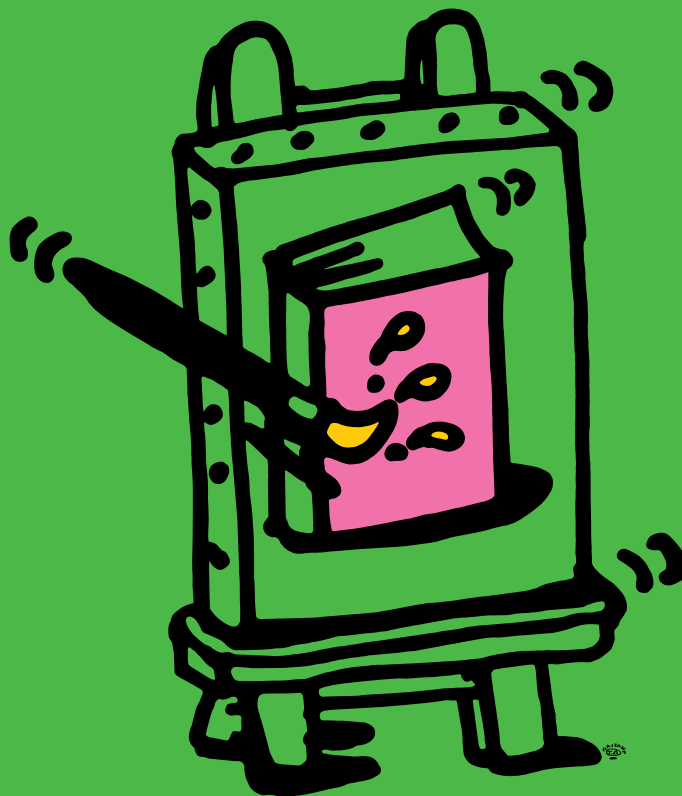
[Title] ----- 「第1回東京装画賞 2012」プレゼンテーション用ポスター(緑)
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 2012
[Client] ----- 日本図書設計家協会
[Category] ----- Culture

[Idea] ----- 図書設計家協会は「第1回東京装画賞 2012」の作品募集を行った。東京装画賞の始まりは、電子ブックの登場した今だからこそ、装画の力、装丁の美を見直し、再認識しなければならないと考える。上質な文字・上質なイラストレーションは消え去るものではなく基本となるビジュアルコミュニケーション力だ。「東京装画賞」を発信することは装画装丁の価値の高さを問いただし、日本図書設計家協会が誇りを持っておこなうべき社会への提案だと考える。そこに生きている人々に感動を与える装画と装丁の創作を提供することである。ポスターのデザインアイデアは、装画家が本文のコンテンツのイメージを象徴化し、そのメッセージ発信する制作プロセスをビジュアル化した。

第1回 装画の力、装丁の美
東京装画賞
 Tokyo Book Jacket Illustration Competition 2012

作品募集!

応募期間
 2012年 4/2(月)～5/11(金) 必着
www.tosho-sekkei.gr.jp/tokyosouga/



■ 応募部門

一般部門

開学時

学生部門

各専修科(専門科、大学、大学院)に在籍している学生 (卒業生は不可)

■ 賞 (一般部門)

東京装画賞 金の本賞

(賞金30万円)

東京装画賞 銀の本賞

東京装画賞 銅の本賞

東京装画賞 審査員賞

東京装画賞 入選

〈学生部門〉

東京装画賞 金の本賞

(賞金10万円)

東京装画賞 銀の本賞

東京装画賞 銅の本賞

東京装画賞 審査員賞

東京装画賞 入選

■ 審査員

秋山 孝 (東京造形大学)

富川和夫 (SPA)

小泉 弘 (SPA)

小林真理 (SPA)

常松靖史 (SPA)

グロリア 美穂 (SPA)

安西水丸 (クリエイティブ)

安野光雅 (SPA)

切明浩志 (クリエイティブ)

高橋千裕 (東京造形大学)



[Title] ----- 「第1回東京装画賞 2012」 作品募集!
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Offset printing
 [Date] ----- 2012
 [Client] ----- 日本図書設計家協会
 [Category] ----- Culture

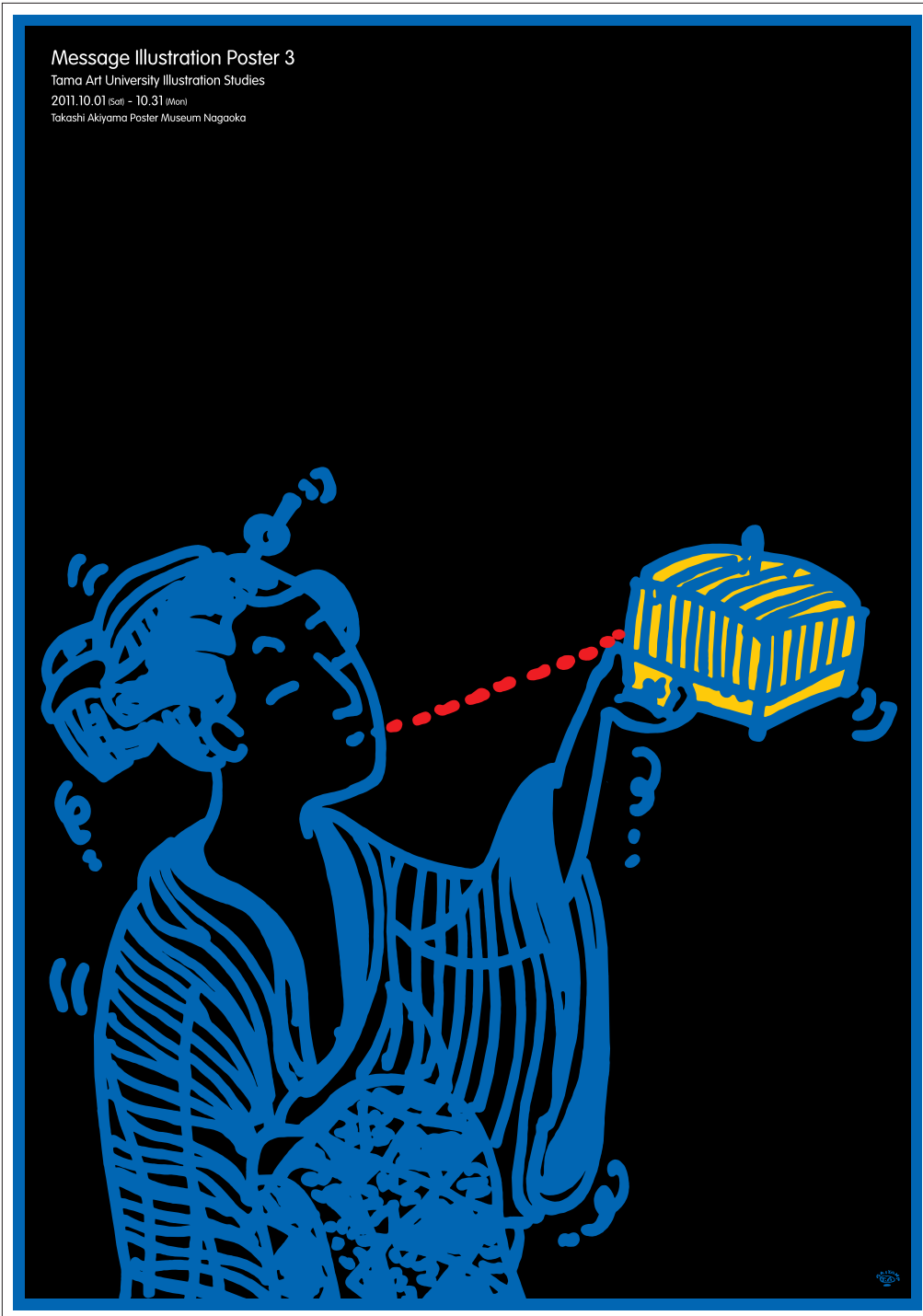
[Idea] ----- 図書設計家協会は「第1回東京装画賞 2012」の作品募集を行った。東京装画賞の始まりは、電子ブックの登場した今だからこそ、装画の力、装丁の美を見直し、再認識しなければならないと考える。上質な文字・上質なイラストレーションは消え去るものではなく基本となるビジュアルコミュニケーション力だ。「東京装画賞」を発信することは装画装丁の価値の高さを問いただし、日本図書設計家協会が誇りを持っておこなうべき社会への提案だと考える。そこに生きている人々に感動を与える装画と装丁の創作を提供することである。ポスターのデザインアイデアは、装画家が本文のコンテンツのイメージを象徴化し、そのメッセージ発信する制作プロセスをビジュアル化した。

Message Illustration Poster 3

Tama Art University Illustration Studies

2011.10.01 (Sat) - 10.31 (Mon)

Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka



[Title] ----- Message Illustration Poster3 - Tama Art University
Illustration Studies
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 2011
[Client] ----- 多摩美術大学イラストレーションスタディーズ
[Category] ----- Education

[Idea] ----- APM(秋山孝ポスター美術館長岡)で2011年10月1日から31日まで多摩美術大学大学院のメッセージイラストレーションポスター委員会が主体となって「メッセージイラストレーションポスター展3」を開催した。APMのコンセプトに教育がありその実現と成果だ。イラストレーションがメディアで活躍する視覚芸術として位置付け、自主的に発信発表し続けている。その中で美術館における発表展示は、客観的に各自の作品を評価し、再発見の場として大切に考えている。ポスターのデザインは日本人のコミュニケーションの魅力に『一寸の虫にも五分の魂』があり、どんなに小さく弱い者でも、それなりの思慮や意地を持っている。そこにメッセージを送っている。



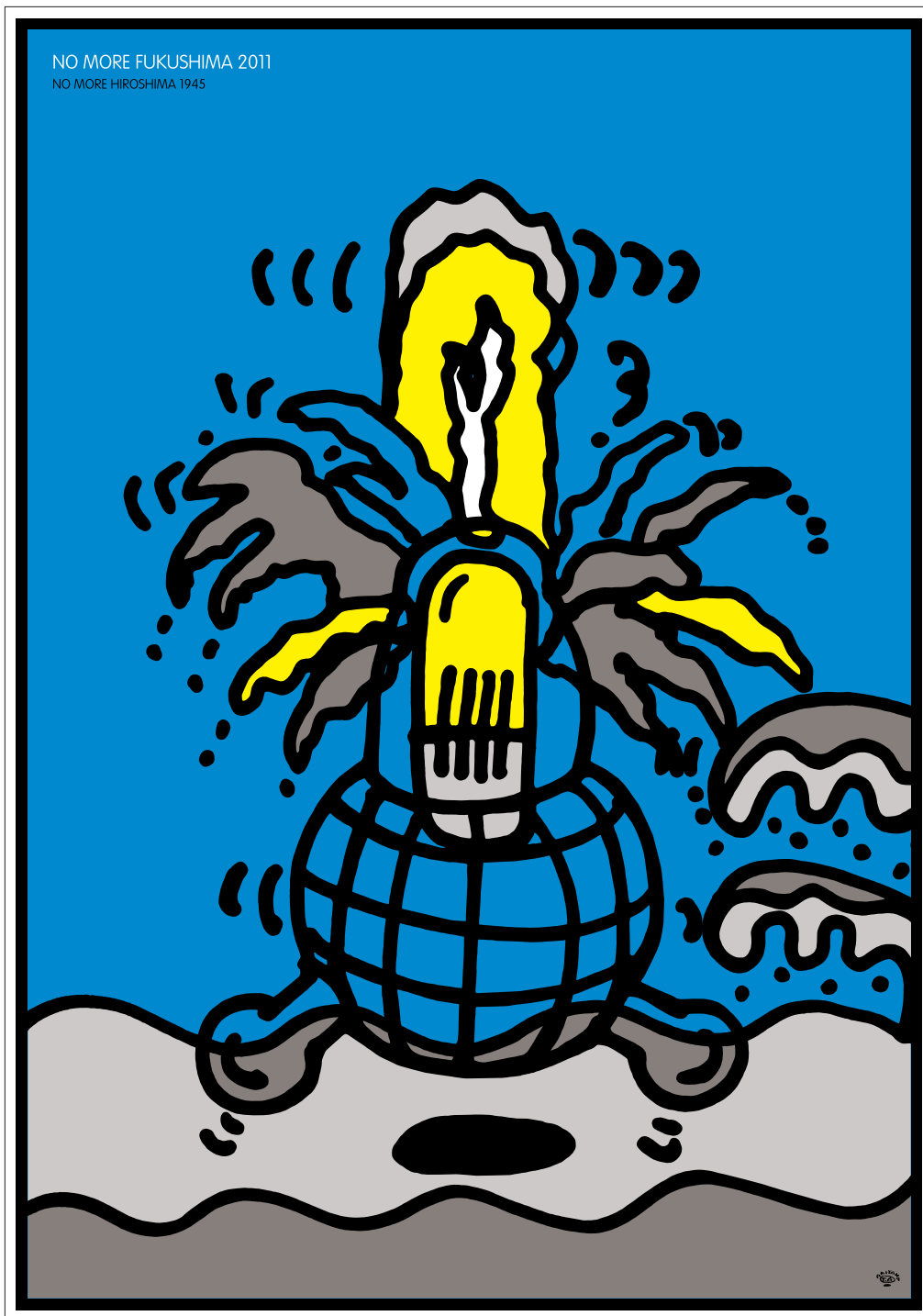
[Title] ----- 地震津波火災 Earthquake Japan(青)
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Offset printing
 [Date] ----- 2011
 [Client] ----- 多摩美術大学地震ポスター支援プロジェクト
 [Category] ----- Social, Education

[Idea] ----- どうとう巨大地震(東日本大震災)がやってきた。予定どおりだ。人間の儚さを思い知らされた。かならず起こると分かっている、この無知さに腹が立つ。現実とは愚かさの積み重ねだ。東日本大震災では地震そのものよりも津波の被害が圧倒的に大きかった。そして、海が燃え上がる津波火災に驚かされた。ぼくは、それをデザインしビジュアルメッセージとした。本プロジェクトは2004年の新潟中越地震を発端として発足した「地震ポスター支援プロジェクト」だ。災害支援においてデザイナーのできることは何かということから、ポスターの力を使い災害を忘れずに記録することを目的にスタートした。展覧会は2011年10月7日～21日、東京工芸大学中野校舎3号館ギャラリーで開催し、講演会、講習会を行った。



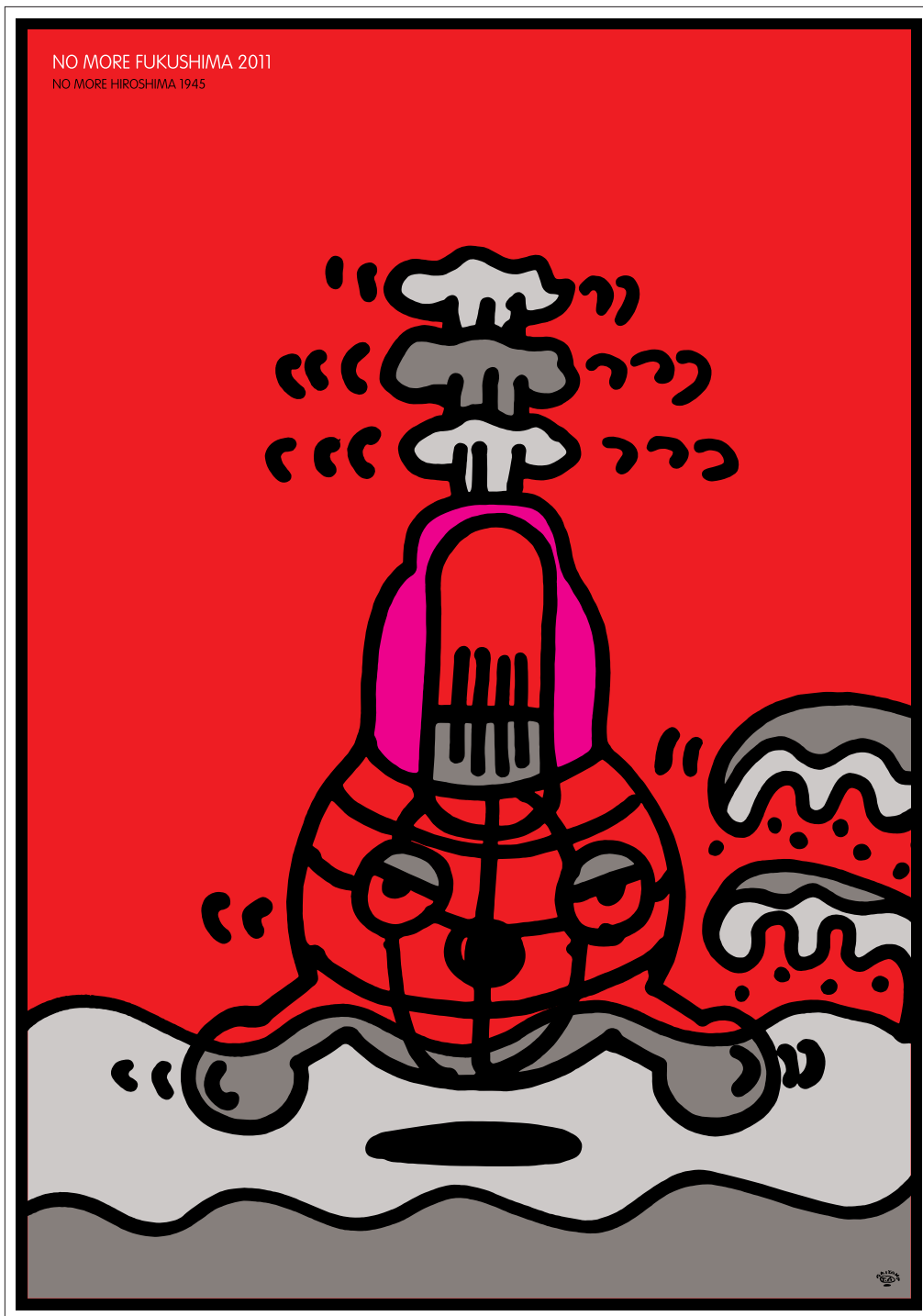
[Title] ----- 地震津波火災 Earthquake Japan(グレー)
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Offset printing
 [Date] ----- 2011
 [Client] ----- 多摩美術大学地震ポスター支援プロジェクト
 [Category] ----- Social, Education

[Idea] ----- どうとう巨大地震(東日本大震災)がやってきた。予定どおりだ。人間の儚さを思い知らされた。かならず起こると分かっている、この無知さに腹が立つ。現実とは愚かさの積み重ねだ。東日本大震災では地震そのものよりも津波の被害が圧倒的に大きかった。そして、海が燃え上がる津波火災に驚かされた。ぼくは、それをデザインしビジュアルメッセージとした。本プロジェクトは2004年の新潟中越地震を発端として発足した「地震ポスター支援プロジェクト」だ。災害支援においてデザイナーのできることは何かということから、ポスターの力を使い災害を忘れずに記録することを目的にスタートした。展覧会は2011年10月7日～21日、東京工芸大学中野校舎3号館ギャラリーで開催し、講演会、講評会を行った。



[Title] ----- NO MORE FUKUSHIMA 2011 / NO MORE HIROSHIMA 1945(青)
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Offset printing
 [Date] ----- 2011
 [Client] ----- 反原発ポスター展実行委員会
 [Category] ----- Social, Ecology

[Idea] ----- U.G.サトー氏を中心とした反原発ポスター展実行委員会は、ヴィジュアルで訴えるグラフィックデザイナー・イラストレーターの反原発ポスター展を開催した。2011年11月16日から25日の間、桑沢デザイン研究所1階大ホールで海外の著名なデザイナーも参加し200名を超える展示となった。実行委員でもあるべくもポスターを制作し参加した。東日本大震災の災害のなかで原子力発電事故は、遙か想像を超える恐怖だった。この問題は解決不能のメッセージとして理解せざるを得なかった。デザインは、アメリカの原発メーカー元技師ブライデンボラが製作したマーク1のシルエットを擬人化したものだ。元技師は、当時安全性に問題あるため中止の提言したが、受け入れられなかった。



[Title] ----- NO MORE FUKUSHIMA 2011 / NO MORE HIROSHIMA 1945(赤)
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Offset printing
 [Date] ----- 2011
 [Client] ----- 反原発ポスター展実行委員会
 [Category] ----- Social, Ecology

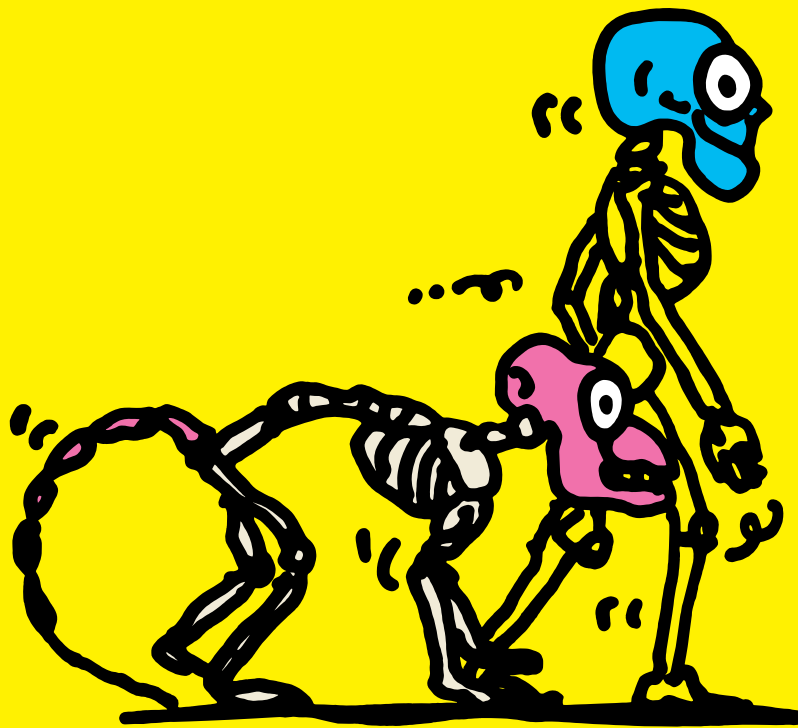
[Idea] ----- U.G.サトー氏を中心とした反原発ポスター展実行委員会は、ヴィジュアルで訴えるグラフィックデザイナー・イラストレーターの反原発ポスター展を開催した。2011年11月16日から25日の間、桑沢デザイン研究所1階大ホールで海外の著名なデザイナーも参加し200名を越える展示となった。実行委員でもあるべくもポスターを制作し参加した。東日本大震災の災害のなかで原子力発電事故は、遙か想像を超える恐怖だった。この問題は解決不能のメッセージとして理解せざるを得なかった。デザインは、アメリカの原発メーカー元技師ブライデンボラが製作したマーク1のシルエットを擬人化したものだ。元技師は、当時安全性に問題あるため中止の提言したが、受け入れられなかった。

INTERNATIONAL CARTOON & ART FESTIVAL 2011

제2회 국제만화예술축제

2011.12.21(wed) - 2012.04.01(sun)

고양 아람누리 아람미술관 & 갤러리 누리

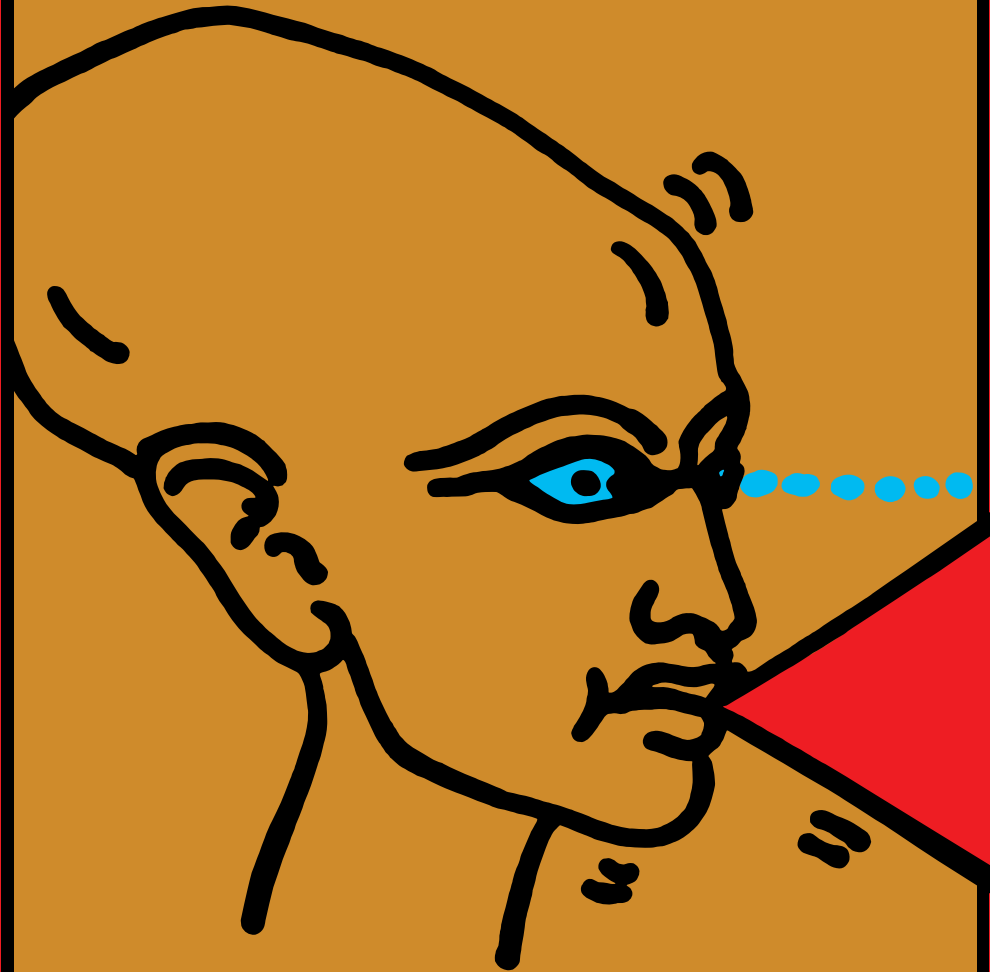


[Title] ----- International Cartoon & Art Festival 2011
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 2011
[Client] ----- 第2回國際漫畫藝術フェスティバル 2011 (ICAFE)
[Category] ----- Education, Ecology

[Idea] ----- 韓國ソウル特別市の北西に隣接する高陽市(コヤン)で開催された「第2回國際漫畫藝術フェスティバル 2011 (ICAFE)」のテーマは「芸術と環境・生態・生命」だ。生命形態学から見た「脊柱の宗族発生--サルからヒトへ (Phylogeny of Vertebral Column -- From Monkey to Man)」のプロセスの入り口から結果をシンボリックにデザインした。つまり脊椎のデザインが変化したことで二足歩行が生まれた。環境・生態・生命をユーモアのある漫画芸術のフォームで表現しポスターにした。

Message Illustration Poster

Tama Art University Illustration Studies
2011.09.05(mon) - 09.16(fri)



[Title] ----- Message Illustration Poster - Tama Art University
Illustration Studies
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 2011
[Client] ----- 多摩美術大学イラストレーションスタディーズ
[Category] ----- Education

[Idea] ----- 多摩美術大学イラストレーションスタディーズは、2011年9月5日～9月16日まで「メッセージイラストレーションポスター展」を多摩美術大学八王子校舎デザイン棟ギャラリーで開催した。「表現デザイン」の授業で制作したメッセージポスター作品を展示し、その表現の可能性を探るうとするものである。今回の出品者は大学院学生を含めて122名で、2000年にスタートし11回目になる。ポスターデザインは、アクナトン王の王女メリタンの美しい神秘的表情を描いた。彼女の細長く突き出ている頭部のフォルムは、紀元前1567～1320年頃の黄金エジプト王朝の美的なメッセージだ。また、その瞳から、言葉を越える永遠の物語が聞こえてくる。

The Faces of Racism Revealed

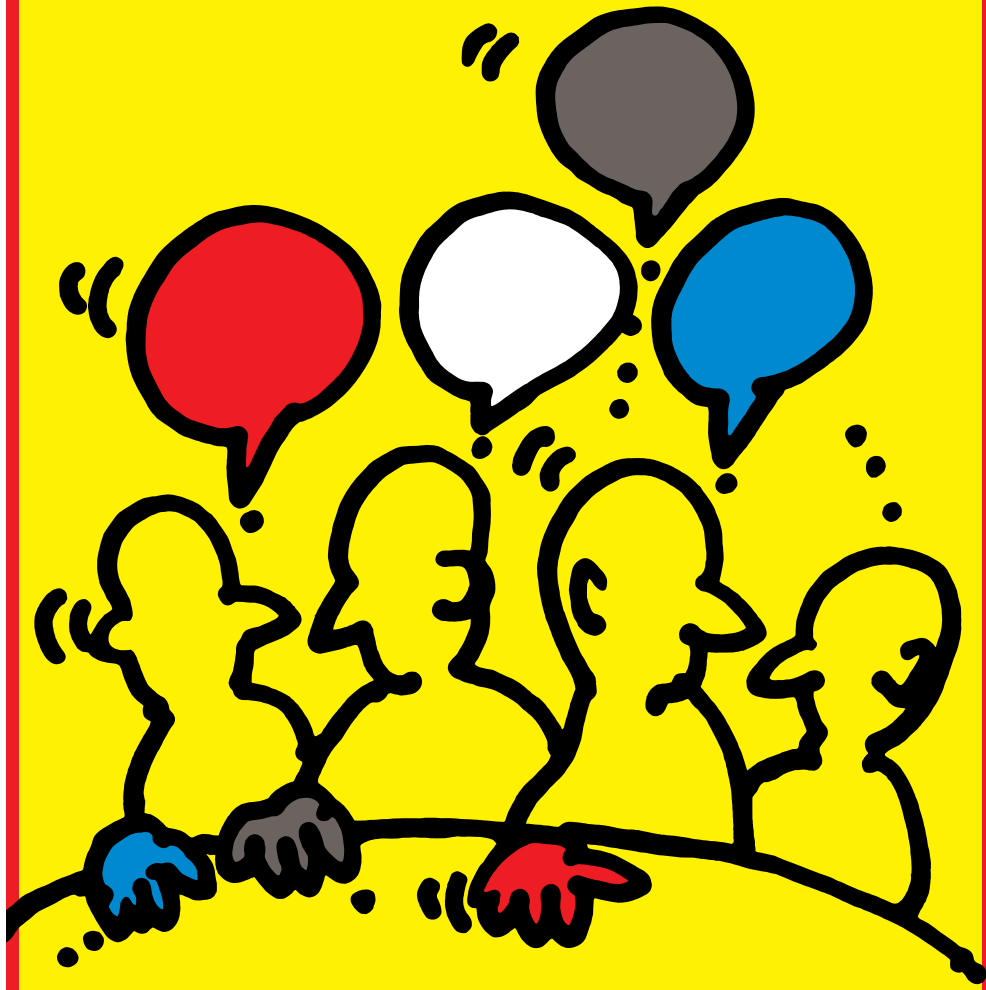


[Title] ----- 国際ポスターフェスティバル・リブリアナ'11
「差別の面々をあばく！」
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 2011
[Client] ----- 国際ポスターフェスティバル・リブリアナ'11
[Category] ----- Social

[Idea] ----- 多くのポスター作品は、世界で活躍する。それは、他の芸術作品と比較すると非常に簡便なインターネット・コミュニケーションと作品運搬の国際宅急便のおかげだ。想像を絶するスピードで世界を駆け巡っている。しかも、言葉を超えた理解しやすい視覚言語表現を駆使しているからだ。今回のポスター作品は、リブリアナ(スロベニア)で開催された「国際ポスターフェスティバル・リブリアナ'11」に招待出品したものだ。国立スロベニア美術館で2011年9月19日から10月14日まで開催された。そして、テーマは「差別の面々をあばく！」で難問であった。世界の人種がテーブルで国際会議をしているイメージだ。テーブルの足は、差別を象徴する色を配色した。

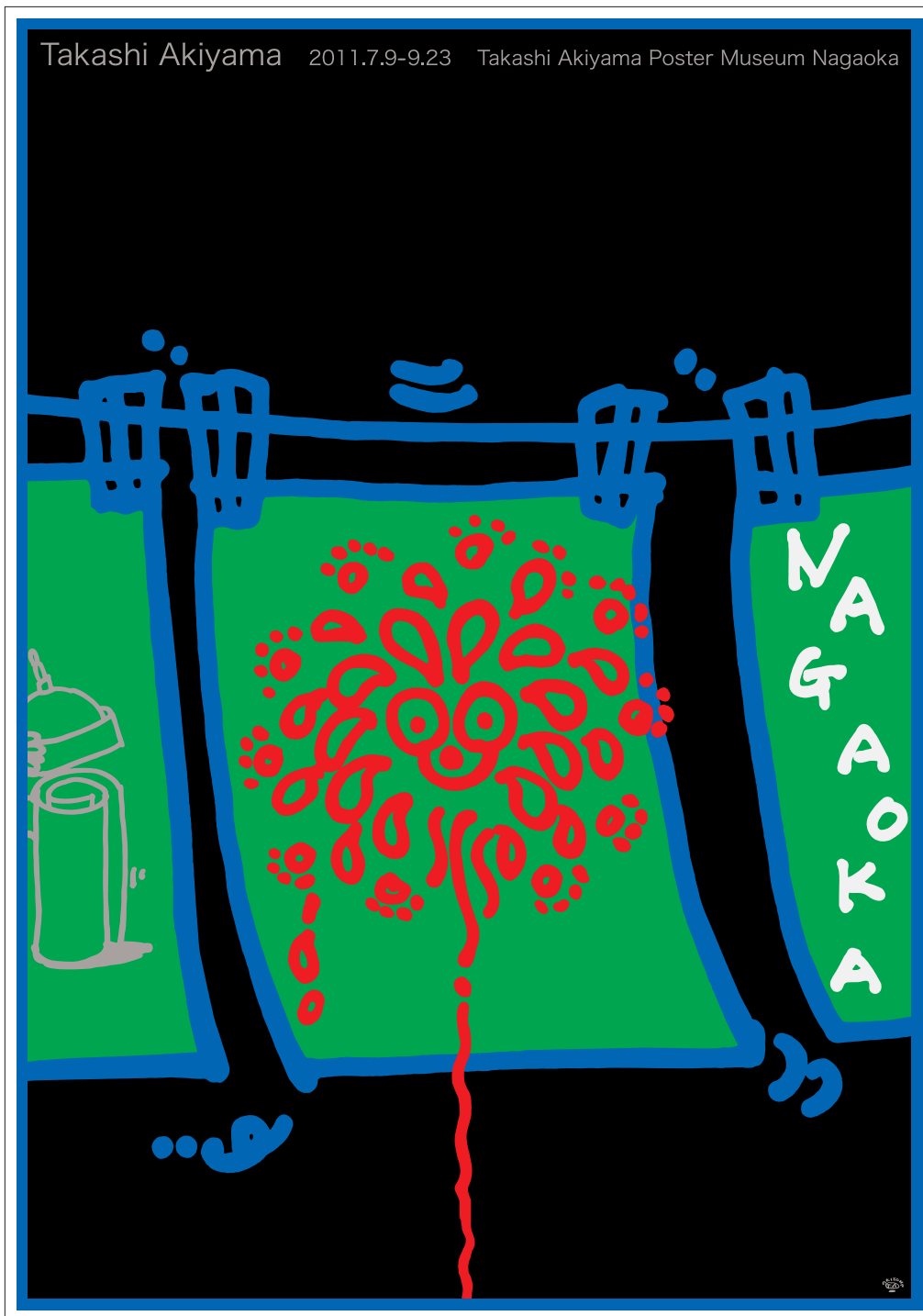
Student Conference 2011 / 2011.07.16 (sat) pm2:00-4:30 / Tama Art University Lecture Hall C

15th Anniversary Illustration Studies - Tama Art University



[Title] ----- "Student Conference 2011"/ 15th Anniversary Illustration
Studies - Tama Art University
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] ----- Offset printing
[Date] ----- 2011
[Client] ----- 多摩美術大学イラストレーションスタディーズ
[Category] ----- Education

[Idea] ----- 多摩美術大学イラストレーションスタディーズは15周年を記念しテーマ「展覧会授業を検証する」スチューデント会議を開催した。「展覧会授業」は、「イラストレーションの授業で何が欠けているか」という疑問から始まった。大学院生主体の会議は、お互いの考え方を認識し、問題点を浮かび上げ、イラストレーションの概念を変えていく力になることを目的としている。



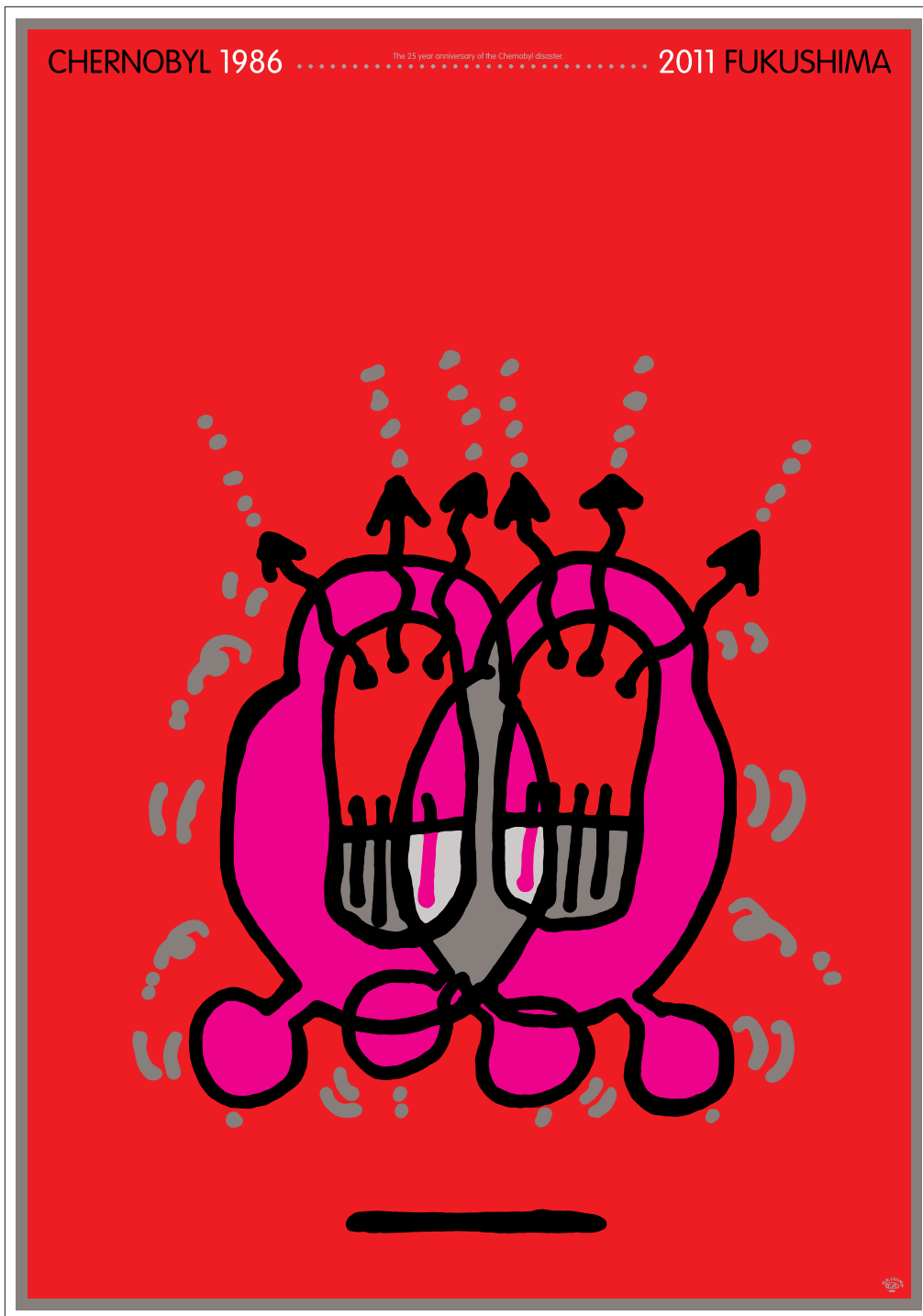
[Title] ----- Takashi Akiyama
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Offset printing
 [Date] ----- 2011
 [Client] ----- 秋山孝ポスター美術館長岡
 [Category] ----- Culture

[Idea] ----- 秋山孝ポスター美術館長岡開館2周年記念を迎え、秋山孝ポスター美術館長岡での三回目の秋山孝ポスター展となる。そのためのポスターだ。モチーフはポスターと花火だ。もともと長岡の花火は第二次大戦からの戦災復興のシンボルだ。長岡の花火には70万人から80万人の人が訪れるが、始まる前には必ず亡くなった人などへの吊いの花火が上げられる。



[Title] ----- 多摩美百景 - 1 / Dessin
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Offset printing
 [Date] ----- 2011
 [Client] ----- 多摩美術大学 デッサンプロジェクト
 [Category] ----- Education

[Idea] ----- 2001年5月30日から6月10日まで多摩美術大学デザイン棟プレゼンテーションギャラリーで「多摩美百景-1/Dessin」展が開催された。グラフィックデザイン学科の基礎教育デッサン(1,2学年)の教育成果の検証をする展示だ。この教育プログラムは、1993年から始まり19年目を迎える長期に渡るものとなった。その間、プログラムの見直しや手直しを繰り返し密度を上げ現在に至った。今回は大学のキャンパス内でイーゼルを立て風景画を研究し制作する課題を取り上げ約300点を展示発表した。その展示会ポスターである。キャンパス内にある伊東豊雄設計の図書館をスラーの点描法を生かし「夜の図書館」をモチーフにデザインした。



[Title] ----- 「チェルノブイリ 1986 -- 2011 福島」25周年記念
 チェルノブイリ原発災害
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Offset printing
 [Date] ----- 2011
 [Client] ----- "4th Block"グラフィックデザイナー協会 (ウクライナ)
 [Category] ----- Social, Ecology

[Idea] ----- 1986年チェルノブイリ原発事故が起きてから25年経った。その悲劇を記念して"4th Block"グラフィックデザイナー協会 (ウクライナ)により国際ポスター展「ポスターアクション'25 on 25」の展覧会がウクライナのハリコフ "House of Artist(芸術家の家)"で4月26日に開かれた。同時開催でモスクワ始めロシア各地・ワルシャワ・ドイツなどで開催された。ポスターは二つの原子炉、チェルノブイリと福島が重なり合い激しく揺れている姿をデザインした。25年経ってもチェルノブイリの教訓は活かされているのか疑問を感じる。つまり、人間は悲しいことに過去の災害からあまり学ばないということがよく分かった。

メキシコ革命100年・独立200年記念 in 長岡 / 秋山孝コレクション研究2

Voices in Freedom

in Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

2011.4-16 sat.—6-30 thu.



[Title] ----- メキシコ革命100年・独立200年記念「Voices in Freedom 展」
in 長岡

[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)

[Technique] ----- Offset printing

[Date] ----- 2011

[Client] ----- 秋山孝ポスター美術館長岡

[Category] ----- Culture

[Idea] ----- 5万ペソの賞金が懸けられたメキシコ革命の英雄エミリアーノ・サバタは、民衆にカリスマ的な人気を持っていた。右手にはライフル、左手にはサーベル、勇猛な姿で知られている。ポスターデザインには顔の表情は消え、右手も左手も何も持っていない。親指だけが立っているサバタをデザインした。平和がやってきた。色彩は熱帯アメリカ産のチリ(トウガラシ)の赤(多摩美術大学版)と緑(秋山孝ポスター美術館長岡版)を使っている。

TAMABI PEOPLE'S NOW

秋山 孝

今回の卒業生インタビューは多摩美のグラフィックデザイン学科教授としてこれまでに大勢の学生を育ててこられた秋山 孝さんです。多摩美を卒業して以来、現在も国際コンペティションで受賞を重ね続けるなど第一線で活躍されています。一方で、近年はご自身の美術館を設立されるなど研究や教育に力を注いでいます。教員として、卒業生として、長く関わられてきた多摩美とご自身の関わりについておはなしをうかがいました。

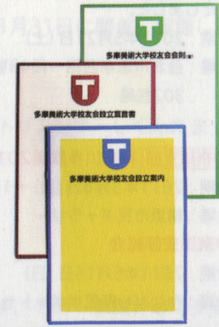
卒業生のこと。校友会のこと。

いつも秋山さんは卒業生が大切だとおっしゃっていますが、その理由は？
はくは、長く学内の広報委員会のもとで大学案内、サブパンフレット、シラバス、ファカルティ、履修案内の制作に携わってきました。多摩美とは何か、と考えていくと、そこにつきあたる答えは、多摩美の財産とは何かということでした。ひとつは、大学の豊かな教育環境(施設、教育内容、教員)と、もうひとつはそこから輩出する社会で理想や使命感に燃える数多くの卒業生でした。特に多摩美の卒業生の活躍ぶりは目を見張るものがあります。これを、多摩美の知的財産と考えるようになりました。そして、2000年に大学案内のサブパンフレットとして、「卒業生たちがつくったもの」と題し、作品を掲載し、その創作の豊かさを社会に知らしめることを始めました。今もこの考えは少しも変わらず教育環境以上に卒業生自体が本大学の最も大切な財産と考えています。この財産は在学生に勇気と志を与える羅針盤の役割を持っています。

秋山さんは校友会の設立にかかわったと伺っていますが、当時の様子をお聞かせください。

本学藤谷宣人理事長の発案で版画専攻の渡辺達正先生が中心となり、校友会設立準備を始めました。設立宣言の文章の原案を作成したのが芸術学科の海老塚耕一先生で、「多摩美術大学校友会設立案内」「多摩美術大学校友会設立宣言書」「多摩美術大学校友会会則(案)」とシンボ

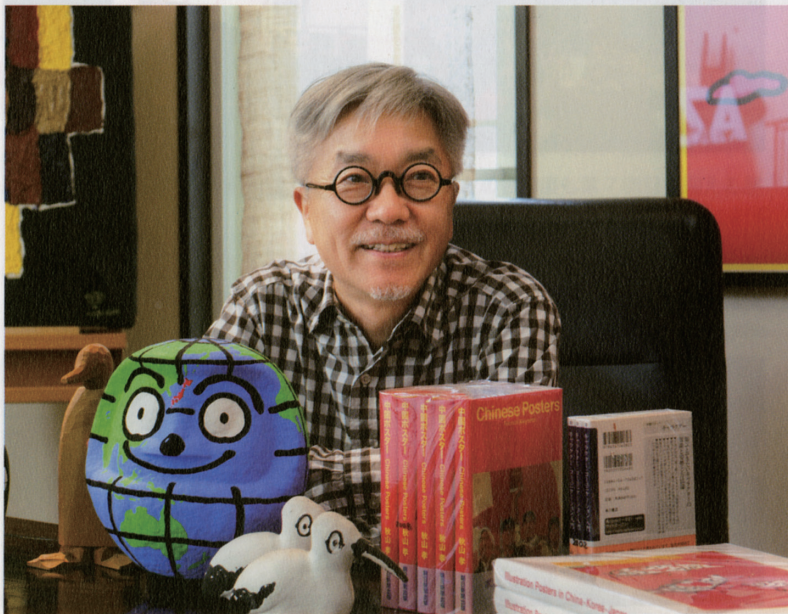
ルマークをほくがデザインしました。そして、「多摩美術大学校友会設立準備会」「多摩美術大学幹事(案)」「多摩美術大学賛同者」とともに設立宣言をし、案内を卒業生に配布しました。なにしろ、渡辺先生のご尽力はただならぬ勢いがあり、そのお陰で校友会が生まれたと実感しています。そのような経緯で校友会がスタートしたのです。今では懐かしい思い出になりました。約16年前になりますが、多摩美のすばらしい卒業生が社会に沢山いるので、そのネットワークや絆のプラットフォームとして校友会をつくる意義があると信じていました。



その後、校友会とのかかわりはどのようなものが印象的でしょうか。

校友会の活動の中で一番の思い出は、初代事務局長の渡辺達正先生の発案で多摩美術大学校友会編の技法書シリーズを誠文堂新光社より出版したことです。ほくが担当したのは「新しいイラストレーション入門」と「新しいシルクスクリーン入門」でした。渡辺先生のアイディアは校友会の社会貢献活動として知的で斬新でした。そのお陰で多摩美のイラストレーションの教育と卒業生のイラストレーターの活躍を俯瞰することができました。戦後日本のイラストレーションの歴史をたどると、多摩美の卒業生達の活躍が突出していることが分かり、まるで、多摩美イラストレーション史といっても過言ではない発見がありました。切れ目無く常に才能のあるイラストレーターを輩出し続けていることが分かったのです。グラフィックデザイン学科だけではなく、各学科からも輩出されています。それこそ、多摩美にしかない創作表現のDNAが受け継がれ続けていることがよく分かりました。

二つ目は、第1回「出前アート大学」の講師を務めたことです。第1回出前アート大学は、当時の会長、東海林 隆会長の発案でできたプロジェクトです。会長からの依頼で、行うことになりました。蕎麦屋さんのようなネーミング「出前アート大学」を渋谷、本町小学校で行いました。子どもたちが描いた小さなイラストレーションが、最先端の中川ケミカルのカッティングシートの技術を駆使して小学校の体育館の壁面を飾るという小さくて大きな企画です。「渋谷の自然」というエコロジカルなテーマで子どもたちが描いた絵は、プロセスを経て、デザインという手品によって美しい壁画となりました。これは小学校の授業では実現不可能な授業です。テーマは驚きとは何か、「1.自分が描いたものと全く同じものが自分の体よりも大きな作品になった」「2.専門家という特別な能力を持った人達の協力を得ることによって新たな力が生まれるということを知る」「3.それを人々に見てもらい対話が生まれる喜びと驚きを体験する」



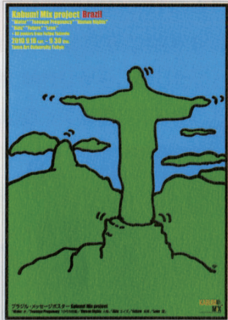
「4.制作には、プロセスがあるということを知る」「5.作品は長く残り、多くの人達に作者の気持ちを伝えることができる」という5つの驚きを作り第1回の出前アート大学を実現しました。表現の始まりは、さまざまな驚きから生まれます。そして、その感動から描かれたイラストレーションには、独自のメッセージがあります。見る側の人達はその魅力を読み取り、共感を抱きます。これがアートの原点です。

多摩美での研究と教育

多摩美ではイラストレーションの研究をされていますが、具体的にどのような活動をされてきたのでしょうか。

1998年から始めたイラストレーションスタディーズは、「ビジュアルコミュニケーション表現の可能性」を基にイラストレーション学の確立を目指すための研究です。イラストレーションとは何かから始まり、現在まで14年間継続し45冊の研究書を発行し続けています。

2007年には、その成果として多摩美術大学70周年記念事業の中で多摩美術大学と産経新聞主催で「東方のイラストレーションポスター展 中国・韓国・日本」を開催しました。中国、韓国、日本のイラストレーションポスターの研究成果を発表した展覧会です。NHKの日曜美術館でも取り上げられ、韓国の光州デザインビエンナーレ2007で巡回展を行いました。また、イラストレーションスタディーズをもとに、グラフィックデザイン学科の基礎課程のデッサン授業のプログラムと3、4年生及び大学院のイラストレーションの授業プログラムができあがりました。



なぜ「秋山孝ポスター美術館 長岡」ができたのですか。

この美術館ができた経緯は、1999年「しなの川音楽祭」のイベントとして、新潟県立近代美術館ギャラリーにおいて「秋山孝の世界展」を3年連続開催したことから始まりました。その展示作品を中心に532点の作品が「秋山孝長岡コレクション」として長岡市に収蔵されました。その後、2008年「秋山孝ポスター美術館 長岡」の案が地元宮内・撰田屋地区の多くの方から発案され協力を得て実現に至りました。

新潟県長岡市は、いくつもの難儀を背負ってきた街です。しかし東山と信濃川からの美しい自然と恵みによって「豊かな美を感じる精神」を育んできました。多くはこの街で生まれ、一族は先祖代々認識できない程長きに渡ってこの地に暮らしてきました。

また、長岡は小林虎三郎の「米百俵の精神」にあるように、1868年の戊辰戦争に敗れた長岡藩において彼が「どんな苦境にあっても教育をおろそかにできない」と主張し、教育が「長岡を立て直す一番確かな道」と説いたのです。多くの美術館もその精神を受け継いで、目的は1.研究、2.コレクション、3.教育と位置づけました。美術館の建物は1925年に建設され、北越銀行宮内支店として地域の人々と共に歩んできました。第二次大戦による火災や度重なる地震などによって老朽化していましたが、街にとっては大切な歴史的建造物でした。それを修復し、「秋山孝ポスター美術館 長岡」として2009年7月11日に生まれ変わりました（都市景観賞受賞）。旧三国街道の宮内・撰田屋地域（醸造の街）全体の魅力を再発見し、新旧を紡ぎ合わせ、街全体を美術館と考え新たな街づくりの実現に貢献したいと願っています。

最後に、多摩美に長く関わられてきて、大学に期待するものは何ですか。

多くの期待するものは、多摩美術大学の卒業生を中心とし、先にも述べた知的財産とそれをもった教育的価値の確立を目指すことです。校友会を含めて互いに協力し合い、日本の美術やデザインの指針となる理念と教育の基盤を作り上げることが重要だと考えているのです。日本、およびアジアを代表し世界に君臨する美術大学としてのリーダーにならないといけないと思うのです。



2011年9月1日アトリエにて収録

秋山 孝（あきやま たかし） Akiyama Takashi

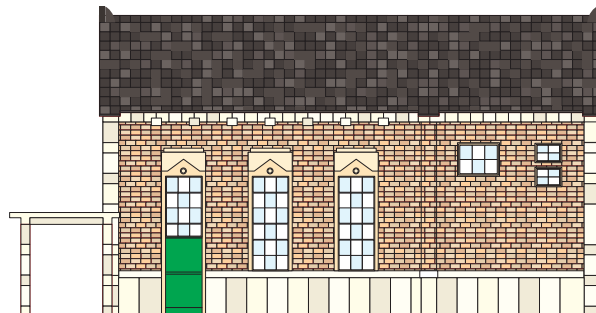
イラストレーター、グラフィックデザイナー、多摩美術大学美術学部グラフィックデザイン学科教授



- 1952年 新潟県長岡市生まれ。
- 1979年 多摩美術大学デザイン科グラフィックデザイン専攻卒業
- 1981年 東京藝術大学大学院修了
- 1984年 アフリカ自然保護ポスター・チュニジア大使館賞
- 1986年 ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞
- ブルノ国際グラフィックデザインビエンナーレ・アルティア賞
- 1992年 メキシコ国際ポスタービエンナーレ・栄誉賞
- 1993年 ニューヨーク・アートディレクターズクラブ国際展・銅賞
- 1995年 ニューヨーク・フェスティバル・銀賞
- 1997年 ヘルシンキ国際ポスタービエンナーレ'97・栄誉賞
- イタリア・コニーノ国際自然映画祭ポスター指名コンペで1席
- 1999年 ニューヨーク・フェスティバル・国連賞
- 2007-11年 Graphis Poster Annual (アメリカ)で14個の金賞を受賞
- フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカ等で国際ポスター展 国際審査員として招聘される。著書に「キャラクター・コミュニケーション入門」（角川書店）、「秋山孝ポスター作品集」（上海人民美術出版社）、「Chinese Posters」（朝日新聞出版）、「イラストレーション・スクール」（デザインハウス・韓国）他多数。（ホームページ）<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>

- 図版1.「多摩美術大学校友会設立案内」、「多摩美術大学校友会設立宣言書」、「多摩美術大学校友会会則（案）」
- 2. イラストレーション・スタディーズによる研究書 全5巻 3. ポスター「KABUMIMIX」展（ブラジル）2010年
- 4. 秋山孝イラストレーションポスターin上海（上海松江美術館・中国）2009年 5. 雁木と金庫庫のある、秋山孝ポスター美術館 長岡（APM）

（秋山孝ポスター美術館 長岡 ホームページ）<http://apm-nagaoka.com/>



2012年「秋山孝ポスター美術館長岡」開館のご案内

- 第9回企画展「ノー・モア・フクシマ」 4月21日(土) 初日のみpm3:00～6月24日(日)
 - ・第14回美術館大学「『ノー・モア・フクシマ』について」 講師：U.G.サトー、福田毅、高田清太郎、秋山孝 4月21日(土) pm3:00～4:30
- 第10回企画展「秋山ポスター展4」 7月7日(土)～9月23日(日)
 - ・第15回美術館大学 7月7日(土)
 - ・第16回美術館大学 8月3日(金)
- 第11回企画展「メッセージイラストレーションポスター展4」 10月6日(土)～10月31日(水)
 - ・第17回美術館大学 10月6日(土)

・開館時間：午前11時～午後5時まで(入館は閉館の30分前まで)
 ・休館日：火曜日/開館期間：4月～10月・閉館期間11月～3月 入館料：無料

"Takashi Akiyama Poster 2012-2011"

発行日：2012年4月1日
 発行者：秋山孝
 発行所：秋山孝ポスター美術館長岡
 〒940-1106 新潟県長岡市宮内 2-10-8
 Tel,Fax：0258-39-1233
 E-mail：info@apm-nagaoka.com
 URL：http://apm-nagaoka.com

デザイン：秋山孝事務所：秋山孝・高橋庸平
 印刷所：東銀座印刷出版株式会社
 ※無断で複写、複製および使用を禁ず。

・中綴じ製本/A4(天地297×左右210mm)
 ・表紙・本文：OKブラスター7C菊Y93.5

"Takashi Akiyama Poster 2012-2011"

Date of issue：2012.04.01
 Publisher：Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka
 2-10-8 Miyauchi Nagaoka-city Niigata 940-1106 Japan
 Tel,Fax：0258-39-1233
 E-mail：info@apm-nagaoka.com
 URL：http://apm-nagaoka.com
 Design：Takashi Akiyama Studio：Takashi Akiyama, Yohei Takahashi
 Printed in Higashi-Ginza Insatsu-Shuppan Inc.

© 2012 Takashi Akiyama, Published in Japan by Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka.

All right reserved.No part of this book may be reproduced in any form or by any means, electronic or mechanical,including photocopying or recording, or by any information storage and system,without permission in writing from the publisher.

